

周南市地域自立支援協議会 平成29年度 第1回定例協議会会議録

1 場所 周南市文化会館地下展示室

2 日時 平成29年7月6日 午後3時30分から午後5時00分

3 出席状況

(1) 出席委員

村岡会長、津永副会長、徳毛委員、澤重委員、田中委員、岡崎委員
通山委員、河崎委員、藤井委員、金池委員、横川委員、浦町委員
信吉委員、井上（敏）委員、板村委員

(2) 事務局

福祉医療部長、障害者支援課長、外2名
相談支援会議議長・地域生活部会・就労部会・教育部会の各専門部会長

(3) 傍聴者 無し

4 審議等経過及び結果

(1) 福祉医療部長あいさつ

(2) 委員及び事務局の自己紹介

(3) 周南市地域自立支援協議会の構成等について

[資料の1～2ページにより、事務局が説明]。

(4) 議事

◇(1)会長、副会長の選出

会長、副会長は委員の互選により選出されることとなっている。立候補及び推薦がなかったため、会長に村岡委員、副会長に津永委員の事務局案を提示。出席委員の異議がなかったため、事務局案どおり、会長、副会長が選出された。

◇会長 それでは、議事に入ります。(2)各専門部会からの本年度の事業計画を各部会長から説明をお願いします。

[資料の3～6ページにより、相談支援会議議長及び各部会長が説明]

◇会長 ただ今の各部会の説明について、何かご質問はありませんか。

◇委員 教育部会の「ペアレントメンター」について、詳しく説明して下さい。

◇部会長 県の研修等を受けた障害のある子どもを持つ親が「メンター」となり、鼓ヶ浦のつばさ園のバックアップの元、同じように障害のある子どもを持つ親に悩み等の相談を受けるなどの活動をされている方のこと。メンターの活動の場の提供等について、部会として検討していきたい。

◇委員 教育部会の「コミュニケーションボード」について、詳しく説明して下さい。

◇部会長 発語が困難な方が絵カードのボードを指差すことで、コミュニケーションが上手くいくようにするもの。このボードがあれば全て上手くいく、というように考えているわけではなく、コミュニケーションをとる場合に、こういう方法もあるのだということを伝えるために作成にとりかかった。

◇会長 その他に何か質問はありませんか。

[その他、委員から以下の発言があった]

- ・行政の施策や事業やこの地域自立支援協議会などの活動が、当事者や活動団体などの末端まで下りてこないように思う
- ・身体障害者などの障害者団体を参考に、他の障害のある方にも当事者会のような活動が広がるのが望ましいのではないか
- ・「大人の発達障害セミナー」は多くの参加者があり、発達障害の知識の定着が進んでいるように思う
- ・手帳やサービスを受けておらず、表に出てこない障害のある人にも目を向ける考えを持ってほしい。そのためには、ボランティアなどの活用を考えないと行政だけでは手が回らないように思う

◇会長 それでは、議事(3)「周南市障害者計画の進捗状況について」事務局から説明をお願いします。

[資料の 8 ページにより、事務局から説明]

◇会長 今回の事務局からの説明について、何かご質問はありませんか。

◇委員 分野別施策 5 の生活環境に関して、新しい駅ビルのバスロータリーに、電光掲示板や音声案内の設置があればと思うが

◇事務局 駅ビルの開発については中心市街地整備課が進めており、各障害者団体からの要望は、その都度お聞きしながら、整備を進めている。委員ご提案の件については、この場では把握をしていないが、ご要望があれば担当課につないでいきたい。

◇会長 その他に何か質問はありませんか。

[他に委員から質疑はなかった。]

◇会長 それでは、議事(4)「周南市障害福祉計画の進捗状況について」事務局から説明をお願いします。

[資料の 9～10 ページにより、事務局から説明]

◇会長 ただ今回の事務局の説明について、何かご質問はありませんか。

◇委員 就労継続支援 A 型事業所は市内にいくつあるのか

◇事務局 2 事業所ある。現在のところ、他に事業所が開設されるという確定の話は聞いていない。

◇会長 その他に何か質問はありませんか。

[他に委員から質疑はなかった。]

◇会長 それでは、議事(5)「第5期周南市障害福祉計画及び第1期周南市障害児福祉計画の策定について」事務局から説明をお願いします。

[資料の11ページにより、事務局から説明]

◇委員 「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築」について説明してほしい

◇事務局 これについては、厚労省からこの言葉が出てきたのは昨年度末頃だったと思っているが、それ以前から、精神障害者の地域移行である病院からの退院や施設からの退所支援において、県や健康福祉センターが中心となって、会議や圏域ごとの協議の場を持っている。こうした会議の場等を通じて、協議が進められるのではないかと考えている。

◇委員 国の基本指針には様々なことが示されているようだが、こういった情報の提示が少ないように思う。委員としては、どのようにこの計画について考えていけば良いのか。

◇事務局 障害福祉サービスについては、制度の中で提供体制が整いつつある。しかし、地域全体で取り組む課題においては、サービス提供事業所だけでなく、色々な分野で活動しておられる方々に、障害者支援というネットワークに参加いただいて、その中でどのような役割で、どのようなことを担っていただけるかを考えていかなければならない。こういったネットワーク作りについては、「医療的ケア児の対応」や「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム」の検討においても必要となってくるので、この辺りのことをお願いしていきたい。

◇委員 示されたことを実施するには予算も必要であろう。周南市は予算的には厳しいと思うので、ボランティアの活用を検討した方が良いように思う。

◇会長 その他に何か質問はありませんか。

[他に委員から質疑はなかった。]

◇会長 それでは、議事(6)「(旧)中央西部老人デイサービスセンターの活用について」事務局から説明をお願いします。

[追加資料により、事務局から説明]

◇会長 今の事務局からの説明について、何かご質問はありませんか。

[委員から質疑はなかった。]

◇会長 では、本日の予定していた議事は終了いたしました。それでは、5のその他として、委員の皆様から何かございましたら、せっかくの機会ですのでよろしくお願いします。

◇委員 療育手帳のカード化が実現したが、その普及は進んでいるか。普及率などが分かれば教えてほしい。

- ◇事務局 数値は把握をしていないので、確認しておきます。窓口での状況では、カードを希望する方も確実におられる。
- ◇委員 現在の療育手帳からカードにするにはどうすれば良いのか
- ◇事務局 手帳の切り替えの手続きを行っていただく必要がある。
- ◇委員 カード化が進んでいないようであれば、団体内で周知するので状況を教えて下さい。
- ◇事務局 わかりました。
- ◇会長 その他に何かありませんか。
〔他に委員から発言はなかった。〕
- ◇会長 事務局から何かありませんか。
- ◇事務局 ありません。
- ◇会長 それでは以上で協議会を閉会します。皆様お疲れ様でした。

以上、会議の経過を記載し、その内容に相違ないことを確認しここに署名する。

平成29年7月 日

周南市地域自立支援協議会 会長